

## 子供だけ!? 大人もかかるRSウイルス

保育園ではこの時期からRSウイルスの感染が出てきます(>\_<)。

RSウイルスは咳、鼻汁など呼吸器症状を引き起こす病気です。2~3歳までにほぼ全ての子どもが感染しますが、年齢を問わず繰り返し感染します。

## 感染経路と予防法

### ○主な感染経路

#### 1 飛沫感染

咳やくしゃみなどによって感染する経路。



#### 2 接触感染

感染者と接触したり、ウイルスが付いたドアノブなどに触れて感染する経路。

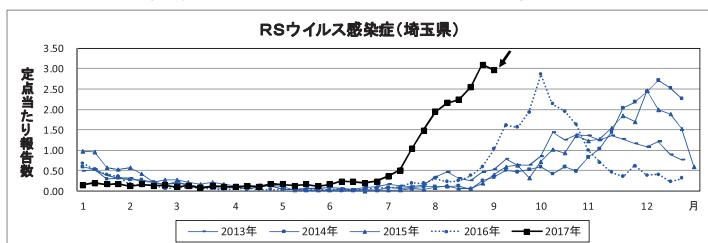
### 特徴・症状

鼻汁・鼻づまりなどの症状からはじまり、2~3日後には咳き込み症状が現れます。乳幼児では喘息のような喘鳴・呼吸困難、38度程度の発熱を伴うこともあります。特に生後6ヶ月以内の乳幼児が感染した場合は、重症化する確率が高くなるため、入院し経過を見ることも。年齢が上がるにつれてRSウイルスに対しての免疫ができるので、軽い「鼻かぜ」程度でおさまることが多いようですが、そのため知らないうちにうつしてしまうケースが多いようです。RSウイルスを含め感染症は、心臓の悪い方や肺が悪い方、免疫系の病気にかかっている方、ご高齢の方は重症化することもあるので注意が必要です!

予防にはマスクの着用と手洗いの徹底。アルコール等での消毒、除菌も効果的とされています。発症した場合は、咳き込みなどの症状に対しての対症療法が主体となります。症状が始めた人はマスクをする、抵抗力が低い方との接触を避ける、など早めの対策を行うことがポイントと言えそうです。「咳エチケット」ですね!



### ○埼玉県内RSウイルス動向



※埼玉県感染情報センターより 感染症発生動向調査 2017年第36週時点より引用

今年のRSウイルスの流行は過去4年の同時期と比べても早い時期から高い水準で推移しているそうです…(埼玉感染症情報センター調査)これから湿度が下がる冬にかけ増えそうな予感ですね。疲れてる時は無理せず、長引くカゼは、早めに受診しましょう。

みんなで予防の意識を持って、感染症から身を守りましょう!